



平成 19 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 富士製薬工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 今井博文
(J A S D A Q ・ コード 4554)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理部マネージャー
上出 豊幸
電話 03-3556-3344

平成 19 年 9 月期中間期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 18 年 11 月 10 日付当社「平成 18 年 9 月期決算短信(非連結)」において公表しました平成 19 年 9 月期中間期業績予想及び通期業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 19 年 9 月期 中間期業績予想 (平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	5,950	—	700	440
今回修正 (B)	6,410	1,053	1,058	594
増 減 額 (B-A)	460	—	358	154
増 減 率	7.7%	—	51.1%	35.0%
(ご参考) 平成 18 年 9 月期中間期実績	5,263	693	709	429

2. 平成 19 年 9 月期 通期業績予想 (平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	12,680	—	1,720	1,060
今回修正 (B)	13,300	2,020	2,030	1,190
増 減 額 (B-A)	620	—	310	130
増 減 率	4.9%	—	18.0%	12.3%
(ご参考) 平成 18 年 9 月期通期実績	11,240	1,532	1,556	915

3. 修正理由

中間期の業績については、売上高が主力製品である診断用薬やホルモン剤を中心に前年同期比 21.8%増と大幅に増加し、製造数量の増加による原価率の低下等により売上総利益率が前年同期より改善する見込みです。また、研究開発費を含む販売費及び一般管理費は、ほぼ当初の計画通りとなる予定で、営業利益、経常利益及び中間純利益については、当初の計画を大幅に上回る見込となりました。

なお、通期の業績予想については、中間期の業績予想を踏まえ、上記のとおり修正いたしました。

上記の予想は、本資料の発表時点での入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表時点仮定を前提としています。実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上